

高槻市で

みなさんの願いが実現しました

## 小学校全学年で 35 人学級実現

# 市独自に小学 3 年から 6 年に実施

いじめ問題の多発、子どもを取りまく社会や家庭生活の変化により、課題が多くなるなか、少人数学級の拡大が求められてきました。その声をうけ、文科省は13年度から5年計画で中学3年までの35人学級実現をめざしていましたが、今年度は実施を見送っています。

高槻市では児童が抱える問題にきめ細やかに対応するため、市独自に35人学級を6年で実施していましたが、今年4月から3年から5年に拡大、全学年で実施しています。本来、国が責任をもっておこなうことが必要です。



## 高齢者の緊急通報装置の設置補助 「昼間独居」などにも対象拡大

一人暮らしの高齢者を対象にした補助制度でしたが、昼間家族が仕事でいない場合や、健康に不安のある高齢者夫婦でどちらかが倒れた場合など、緊急通報装置があれば安心、との声が多く寄せられています。

2012年度は、1406件利用しており、健康に不安のある高齢者の在宅生活を助ける制度となっています。日本共産党市議員団として長年、対象拡大を求めてきましたが、やっと、4月から、「昼間独居」や「高齢者世帯」も利用ができるようになりました。また、NTT一般回線以外でも利用できます。

## 3世代ファミリー住宅リフォームや太陽光発電システムへの助成で 市内業者の仕事をうみ出す

不景気のなか、市内業者の仕事を少しでも増やすことが必要です。高槻市では、子育て世帯と市内在住の親世帯が、住宅の購入や同居するためのリフォーム費用の一部を助成します。助成対象を「市内業者による工事」に限定しています。また、住宅太陽光発電システムへの助成金を使った設置工事は約2割が市内業者です。市はこれをもっと引き上げるため、設置にあたって市内業者を使うことを呼びかけています。



### 国民健康保険

## 約4割の世帯が値上げにならないよう 保険料減免制度を拡充

国の補助削減などで、高槻の国民健康保険は、今年度累積で約25億円の赤字見込み。

15年ぶりに保険料が値上げされましたが、同時に新たに減免制度をつくりました。

市は収入の少ない人の負担を軽くするために、①保険料額が所得の16%を超える世帯は超過分を減額する②法定軽減（7割・5割・2割軽減）の対象で、所得割保険料がかからない世帯は、2年間保険料をすえ置きます。減免の結果、4割近い世帯（見込み）が保険料値下げかすえ置きになります。

日本共産党もがんばってきました

日本共産党市政だより

日本共産党高槻市議員団発行 高槻市桃園町2-1 2013年8月号  
議員団控室 電話072-674-7230 F A X 072-674-3202

ホームページ <http://www.jcp-takatuki.jp> メールアドレス E-mail:shigidan@jcp-takatuki.jp

市政への要望、ビラについてのご意見などをお寄せください。